



シンボルマークのデザインについて

福島県の再生に向け、「ふたたび生まれる」という思いのもと、切り株から新しい命(芽)が生まれる様子をデザインしたものです。3つの円の青、茶、緑の色は、海、大地、自然をイメージしています。

シンボルマークは、震災後「がれきに花を咲かせようプロジェクト」を通じ、様々な活動を進めてこられた福島県立保原高等学校美術部のみなさんの協力のもと、作成しました。

環境再生に関する情報をお伝えしています



環境再生 プラザ

福島県 環境省

平成29年9月 第5版

<アクセス>



休館日/月曜日(祝日の場合は翌日)

福島県福島市栄町1-31(開館時間 10:00~17:00)

お電話でのお問い合わせ **024-529-5668**

メールでのお問い合わせ saisei-plaza@env-josen.jp

環境再生プラザホームページ <http://josen.env.go.jp/plaza/>



環境再生 プラザとは？

環境再生プラザは、

ふくしまの環境回復の歩みや放射線、中間貯蔵などの

環境再生に関する情報をお伝えする拠点です。

わかりやすいパネルや模型展示、

専門スタッフによる解説や相談を行っています。

また、より多くの方々に知っていただけるよう、市町村や町内会、

学校などへ専門家を派遣したり、様々な地域やイベントで

移動展示を行ったりしています。

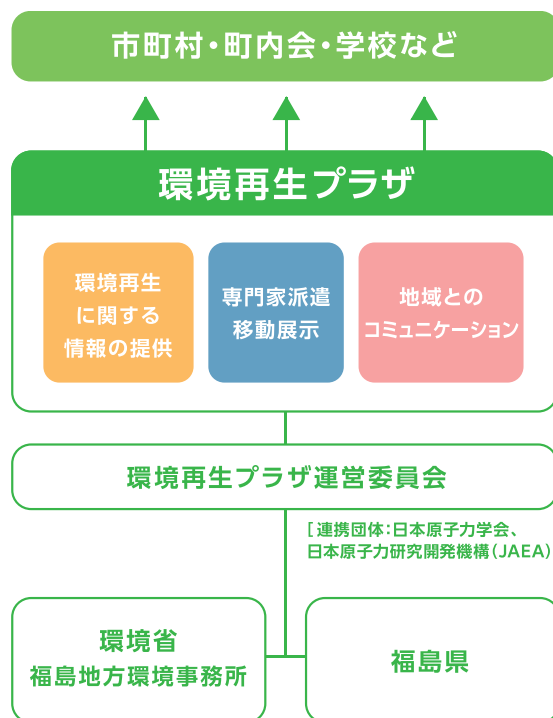
地域との交流やコミュニケーションを通じて、

みなさまのお役に立てるようサポートいたします。

どうぞ、ご活用ください。

環境再生プラザの仕組み

市町村や町内会、学校などに、環境再生に関する情報の提供、専門家派遣・移動展示、地域とのコミュニケーションを推進しています。



環境再生プラザの役割

環境再生に 関する情報の提供

ふくしまの環境回復の歩みや情報を、パネルや模型、映像を使って、わかりやすくお伝えしています。また、みなさまが日々抱いている疑問点などを、常駐のスタッフにお尋ねください。



専門家派遣 移動展示

専門知識や豊富な経験を持った専門家を市町村や町内会、学校などへ派遣しています。また、様々な地域やイベントで移動展示を行っています。

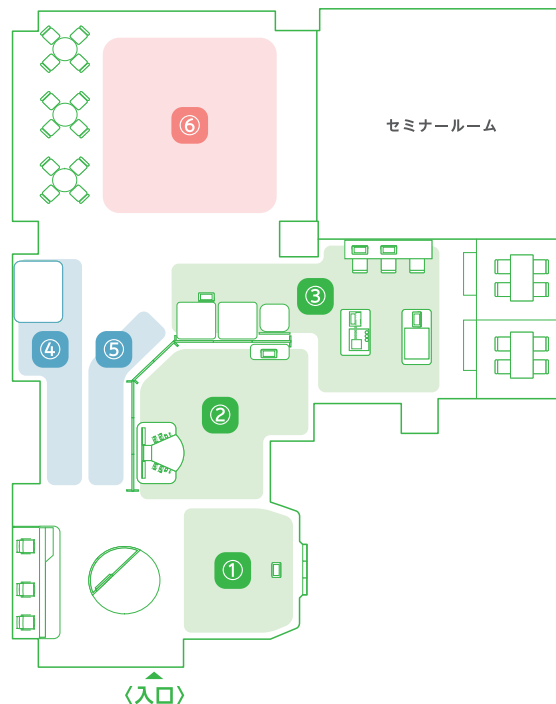


地域とのコミュニケーション

除染や放射線、中間貯蔵などの環境再生に関して、地域の方々とともに学び考えるためのワークショップやシンポジウムなどの実施、環境再生に向けた活動や取組みを紹介する企画展示を実施しています。



館内マップ



① ふくしまの環境回復

② 放射線の基礎知識

③ 除染・仮置場

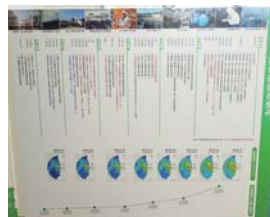
④ 中間貯蔵施設事業

⑤ これからの環境再生

⑥ 企画展示

① ふくしまの環境回復

ふくしまの環境回復の歩みについてお伝えするコーナーです。環境回復に関する出来事や放射線量の低減状況などをご覧ください。



環境回復の歩み



大型モニター

② 放射線の基礎知識

放射線の基礎知識をお伝えするコーナーです。放射線および健康への影響についてわかりやすく解説したパネルや映像、放射線測定器を展示しています。実際に正しい測り方について、体験することもできます。



放射線の基礎情報



放射線測定体験

③ 除染・仮置場

除染や仮置場に関する情報をお伝えするコーナーです。除染の方法や効果、仮置場の構造をわかりやすく伝える模型や、仮置場の安全性についての映像をご覧ください。



除染進捗情報一覧



仮置場模型

⑤ これからの環境再生

「福島県再生可能エネルギー推進ビジョン」に関する情報や、環境再生とともにある浜通り伝統文化などの情報をご覧ください。



再生可能エネルギー



浜通り伝統文化情報

④ 中間貯蔵施設事業

中間貯蔵施設の概要や輸送の安全対策、施設整備の進捗状況などをお伝えするコーナーです。中間貯蔵施設予定地のジオラマや、輸送の映像などをご覧ください。



施設予定地ジオラマ



輸送の安全対策

⑥ 企画展示

各地域で環境再生に向けて取り組んでいる様々な活動を、期間限定の企画展示で紹介しています。



展示風景1



展示風景2

専門家の派遣

ふくしまの環境再生についての正しい知識をお伝えするため、高い専門性や豊富な経験を持つ専門家を、市町村や町内会、学校などへ派遣しています。ご要望に合わせて様々な対応が可能です。

〈派遣内容〉

モニタリングのアドバイス

放射線測定器の使い方や測定方法、モニタリングなどについてアドバイスを行います。



放射線に関する講習会

放射線や放射性物質全般に関する基本的な知識などの講習を行います。



環境回復に関する講習会

現在の環境回復状況や放射線量の推移、中間貯蔵事業等の状況について、講習を行います。



現場でのモニタリング

現在の放射線量を確認するため、モニタリングし、測定結果に基づいてアドバイスを行います。



※福島県内および除染実施区域、避難者等を対象としています。

●お問い合わせ窓口

電話:024-529-5668

メール:saisei-plaza@env-josen.jp

※電話受付時間:10:00~17:00まで(月曜は定休日、祝日の場合は翌日)

〈専門家派遣事例のご紹介〉

事例1 市町村への派遣



(依頼者からの声)

実際に作業を行いながら説明していただいたため、とてもわかりやすかったです。

●内容:モニタリングを通してアドバイス
放射線量を測定し、測定方法や測定結果について、アドバイスをを行いました。

事例2 地域主催勉強会への派遣



(参加者からの声)

イラストやパネルを使ってわかりやすい説明でした。

●内容:放射線に関する講習会
勉強会に専門家を派遣し、現在の放射線量の状況について説明しました。

事例3 県内小学校への派遣



(依頼者からの声)

実験などを組み合わせ、子どもたちの興味・関心をひく授業内容で楽しく学べました。

●内容:放射線に関する講習会
小学校の放射線授業に専門家を派遣し、放射線の性質、被ばくなどの基礎講義と、霧箱実験や放射線の測定体験などを通して放射線について学んでいただきました。

移動展示

ふくしまの環境再生に関する情報を、福島県内外の多くの方にご覧いただけるよう、移動展示を行っています。

〈展示内容〉



パネル展示



資料の配布



除染・放射線に関する映像



仮置場模型



霧箱体験

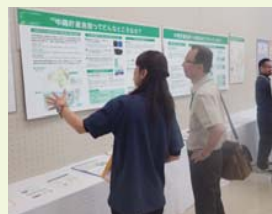


専門スタッフによる説明



〈移動展示事例のご紹介〉

事例1 県内イベントへの出展



(来場者からの声)

中間貯蔵施設の進捗具合はどうか、知ることができました。

福島県内の環境回復状況のパネルや中間貯蔵事業の進捗を中心に展示し、県内各地域の環境再生の状況をお伝えしています。

事例2 県外イベントへの出展



(来場者からの声)

除染および放射線等の正しい知識と情報を伝える事は福島の子供たちが生きていくために必要な事だと思います。

県外のイベントに出展することで、福島再生への取り組みなど、福島の実状や放射線に関する基礎知識をお伝えし、風評被害の払拭や福島復興に繋がります。

事例3 放射線講習会への出展



(受講者からの声)

パネル展示に加えて、スタッフからの丁寧な説明があってわかりやすかったです。

放射線に関する基礎知識などのわかりやすいパネルを展示し、講習内容の理解を深めていただいています。

地域とのコミュニケーション

福島県内外の方々と、地域の環境再生の取組みなどについて情報交換や共有、コミュニケーションができる場をご提供しています。また、福島県内の最新の情報を発信しています。

〈主な取組み〉

地域との情報交換・コミュニケーション

様々な立場や視点で、福島県環境再生などに取組む方々と、今後に繋がる情報交換や交流を行っています。



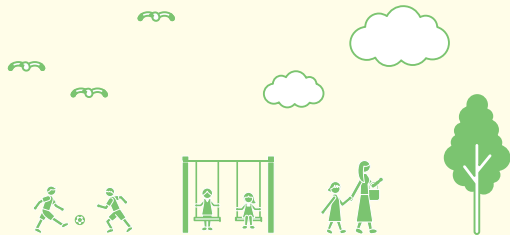
イベント「くるまざカフェ」での意見交換の様子

県外・海外との情報交換・コミュニケーション

日本全国や海外も対象に、福島県の現状を知っていただくため、情報交換や交流を行っています。



福島県の招へい事業に参加した台湾の学生たち



〈地域との交流事例のご紹介〉

事例1 地域の企画展示



(住民の方からの声)

地域の特色や環境再生へ向けての様々な取組みを知って、一歩ずつ前を進んでいることがわかり、応援していきたいです。

除染後の地域の暮らしや、環境再生に向けた取組みなどを紹介する展示を開催しています。

事例2 「くるまざカフェ」の開催



(参加者からの声)

体験プログラムに参加し、実際に自分の目で見て、感じることで納得することができ、とても良い体験でした。

「くるまざカフェ」というイベントを開催しています。環境再生などに取組む方々と一般参加者が情報や意見を交換し、現地を訪れる体験型プログラムやシンポジウムを行っています。

事例3 留学生や地元大学との交流



(来場者からの声)

福島県の現状について学んだことを、友人や家族に伝えていきたいです。

海外からの短期留学生に福島県の現状(除染による環境回復の状況)を学んでもらいました。留学生には、母国で「現在の福島県の状況は?」「風評とは?」などについて発信していただいています。